

ATACの内容

本会は長年の経験により独自の技術とノウハウを有する技術者・管理者を結集し、お互いの知恵を出しあい、学習しあい、ネットワークを活用するとともに、中堅・中小企業が抱える国際化、技術開発、人材育成等の諸問題の解決を支援することにより中堅・中小企業の発展に資することを目的とする。

～ATAC規約第2条より～

ATACは上記の目的に則り、これまで12年にわたり中堅・中小企業の発展のために数々の活動を推進してきました。その主なものを挙げますと

1. コンサルティング

ATAC活動の大部分を占める業務で中堅・中小企業の抱えるさまざまなテーマについて450件以上のコンサルティング業務に携わってきました。

2. セミナー開催・講師派遣

ATACは従業員教育、経営管理、ISO関連、品質管理などのセミナーを企画・実施し好評を博しています。また、講演会・研修会などへの講師派遣も行っています。

3. 書籍刊行

中堅・中小企業の発展に役立つため、これまでに刊行した書籍は下記の通りです。

- ATACの経営便利帳
- 現場の課題解決はこうする
(中堅・中小企業の業務改善事例)
- 中堅・中小企業へのATAC提言集
 - ① 新商品開発のヒント
 - ② ISO9000認証取得の手引き
 - ③ ISO14001認証取得の手引き
 - ④ 中小企業のためのIT
 - ⑤ 材料選択の手引き
 - ⑥ 設計を考える

4. NASCA(産学連携のお手伝い)

企業の技術ニーズをお預かりして、最適な技術シーズを持つ大学や研究機関などを探し、ご紹介する業務です。

5. 公的支援情報送信サービス

ご希望の企業に、国や府県等による研究開発補助金等の公的支援募集情報をタイムリーに分かりやすくe-mailやFAXで無料配信する業務です。

新たに公的支援情報サービスをご希望の企業の方は下記の申込書にご記入の上、FAX (06-6443-5319) でお申し込みください。

公的支援情報送信サービス新規申込書

企業名
所在地
担当者
TEL
FAX
E-mail
公的支援情報送信先(どちらかに✓してください)
<input type="checkbox"/> FAX / <input type="checkbox"/> E-mail

書評

生涯最高の失敗 田中耕一著 朝日新聞社刊 ¥1200

この本は1年半前に日本中をフィーバーに陥れたあの田中さんの本で、あれだけマスコミの映像と記事を通じて知られていて今更の感がありますが、初めて自分で書かれた文章や講演録、山根一真氏との対談などが収録されており、週末に格好の読みものと思います。

タイトルになっている「失敗」は言うまでもなく蛋白質のレーザーによる質量分析用試料の調整過程で余分なグリセリンを混ぜてしまったものを「もったいない」と思って分析し、高分子の蛋白質の分析に成功したことを指しています。田中さん個人の資質と実験に対する姿勢、5人の開発グループが分析装置の開発を機能毎に分担し、実験結果を毎週レポートに整理して情報を共有しながら進めた点や、蛋白質の分離に成功した時の模様、その後の特許出願、国内の学会での発表、初めての英文の論文の英国の専門誌への投稿、1号機のマニュアルづくりとアメリカでの一人だけでの据え付け、その後2号機が売れなくて別テーマに移ったことなど、この技術の一連の成り行きとそれぞれに対する田中さんの所感や反省などが述べられており、示唆に富んだものがあります。

田中さんは研究開発からその製品の営業まで、イギリスの研究所や子会社での勤務を含めて、20年間に4サイクルを経験したと書かれています。技術者のキャリアパスは本人の意思というよりはマネージメントが決めることですので、この京都の老舗企業のトップの研究開発・新製品開発のスピードに対する厳しい姿勢が判るような気がします。

この本は研究開発・新製品開発に携わる、あるいは携わった経験のある、企業の技術者にとっては共感と反省の両面で思い当たるところが多々あって興味が尽きないと思います。また、経営トップにとっても技術者の採用から訓練・キャリア形成や研究開発・新製品開発のマネジメントを考える上で得るところがあると考え、紹介します。(池田記)

